

青森県内初、奥入瀬渓流エリアでの実装を見据えた自動運転の実証実験を実施 ～3種の自動運転サービスの提供を通じて、奥入瀬の観光地としての魅力向上を目指します～

WILLER 株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役:村瀬茂高)、株式会社ティアフォー(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:加藤真平)、BOLDLY 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO:佐治友基)とゲキダンイイノ合同会社(本社:大阪府大阪市、座長:嶋田悠介)は、青森県と連携し、青森県の奥入瀬渓流エリアにおいて、自動運転サービス導入を見据えた実証実験(※)を10月21日(月)～27日(日)に実施します。



全国屈指の自然観光地である奥入瀬では、環境保全を主目的に、マイカー交通規制の社会実験が実施されており、さらには奥入瀬(青楓山)バイパス整備の事業が進められています。バイパス完成後は、奥入瀬渓流と並行する国道の約10km区間に交通規制を導入し、天然の自然博物館「奥入瀬フィールドミュージアム(以下「OFM」)における高付加価値化した観光コンテンツとして、新たな交通システムを導入予定とされています。そこで今回は、新交通のうち渓流内交通を対象に、持続可能かつ高付加価値なサービス提供を目指し、自動運転の実証実験を実施します。

今回の実証実験の主なポイントは以下3点です。

- ① シャトルバス、観光バス等限られた車両と歩行者が混在する環境下で、同期間に3種の自動運転車両が走行します。
- ② 走行する車両は「MiCa」「GSM8」「iino type-S1300」で、「MiCa」と「GSM8」はエコツアーガイドが同乗し高付加価値化したツアーとしてのモビリティサービスを、「iino type-S1300」は歩くことを補完し観光コンテンツとして楽しみながら移動できるモビリティサービスを提供します。なお、「GSM8」は、県内へ水平展開のために地域のバス事業者(ジェイアールバス東北株式会社)が運行を担います。
- ③ 走行空間の実証として、安全性を高める路面サインや看板の設置や、社会受容性を高める映像の放映も実施します。

本実証を通じて、OFMとしての高付加価値化した自動運転サービスの創造による奥入瀬の観光地としての魅力向上と、青森県内初の自動運転実証実験を通して県内におけるレベル4での自動運転の社会実装を目指します。

<詳細>

◆日程

BOLDLY「MiCa」:10月21日(月)~27日(日)の計7日間

ティアフォー「GSM8」:10月23日(水)~27日(日)の計5日間

ゲキダンイノ「iino type-S1300」:10月25日(金)~27日(日)の計3日間

◆運行スケジュール

特設サイト(<https://travel.willer.co.jp/maas/autonomousdriving-oirase/>)にてご確認ください。

◆運行ルート

BOLDLY「MiCa」:石ヶ戸~雲井の滝 約2.8km

ティアフォー「GSM8」:雲井の流れ~子ノ口 約4.0km

ゲキダンイノ「iino type-S1300」:雲井の滝~雲井の流れのうち約0.7km

◆車両

「Auve Tech社 MiCa」

- 定員 :8名(乗客用座席8名)
- 速度 :~19km/h
- 操作系:ハンドルなし(コントローラーによる操作)、特別装置等
- 台数 :1台



「タジマモーターコーポレーション社 GSM8」

- 定員 :10名(乗客用座席7名)
- 速度 :~19km/h
- 操作系:通常のハンドル、特別装置等
- 台数 :1台



「ゲキダンイノ社 iino type-S1300」

- 定員 :8名
- 速度 :~5km/h
- 操作系:ハンドルなし(コントローラーによる操作)、特別装置等
- 台数 :1台



◆体制

- 車両提供者 :BOLDLY株式会社
- 運行主体 :BOLDLY株式会社
- 運転手 :車内
- 保安員 :WILLER株式会社

- 車両提供者 :株式会社ティアフォー
- 運行主体 :ジェイアールバス東北株式会社
- 運転手 :車内
- 保安員 :WILLER株式会社

- 車両提供者 :ゲキダンイノ合同会社
- 運行主体 :ゲキダンイノ合同会社
- 運転手 :近接監視
- 保安員 :ゲキダンイノ合同会社

◆乗車方法

BOLDLY「MiCa」:事前予約制

ティアフォー「GSM8」:事前予約制

ゲキダンイノ「iino type-S1300」:事前予約不要

◆予約:特設サイト(<https://travel.willer.co.jp/maas/autonomousdriving-oirase/>)よりご予約ください。